

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業
～スーパーグローバル大学創成支援～

構想調書（案）
【タイプA・タイプB】

1. 大学名	
	機関番号

2. 構想名	
3. 構想のキーワード	

4. 申請者 (大学の設置者)	ふりがな 氏名	所属・職名				
5. 構想責任者	ふりがな 氏名	所属・職名				
6. 学生・ 教職員数		学生数		教職員数(H26.5.1)		
		入学定員 (平成26年度)	全学生数 (H26.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	人	人	人	人	0 人
	大学院	人	人			
合計	0 人	0 人				
7. 学部・ 研究科等名	学部数		研究科等数			
	(学部名)					
	(研究科等名)					

(大学名：) (申請区分：)

8. 本事業経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て						
年度(平成)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
内訳	事業規模	0	0	0	0	0
	補助金申請額					
	大学負担額					
年度(平成)	32年度	33年度	34年度	35年度	合計	
内訳	事業規模	0	0	0	0	0
	補助金申請額					0
	大学負担額					0

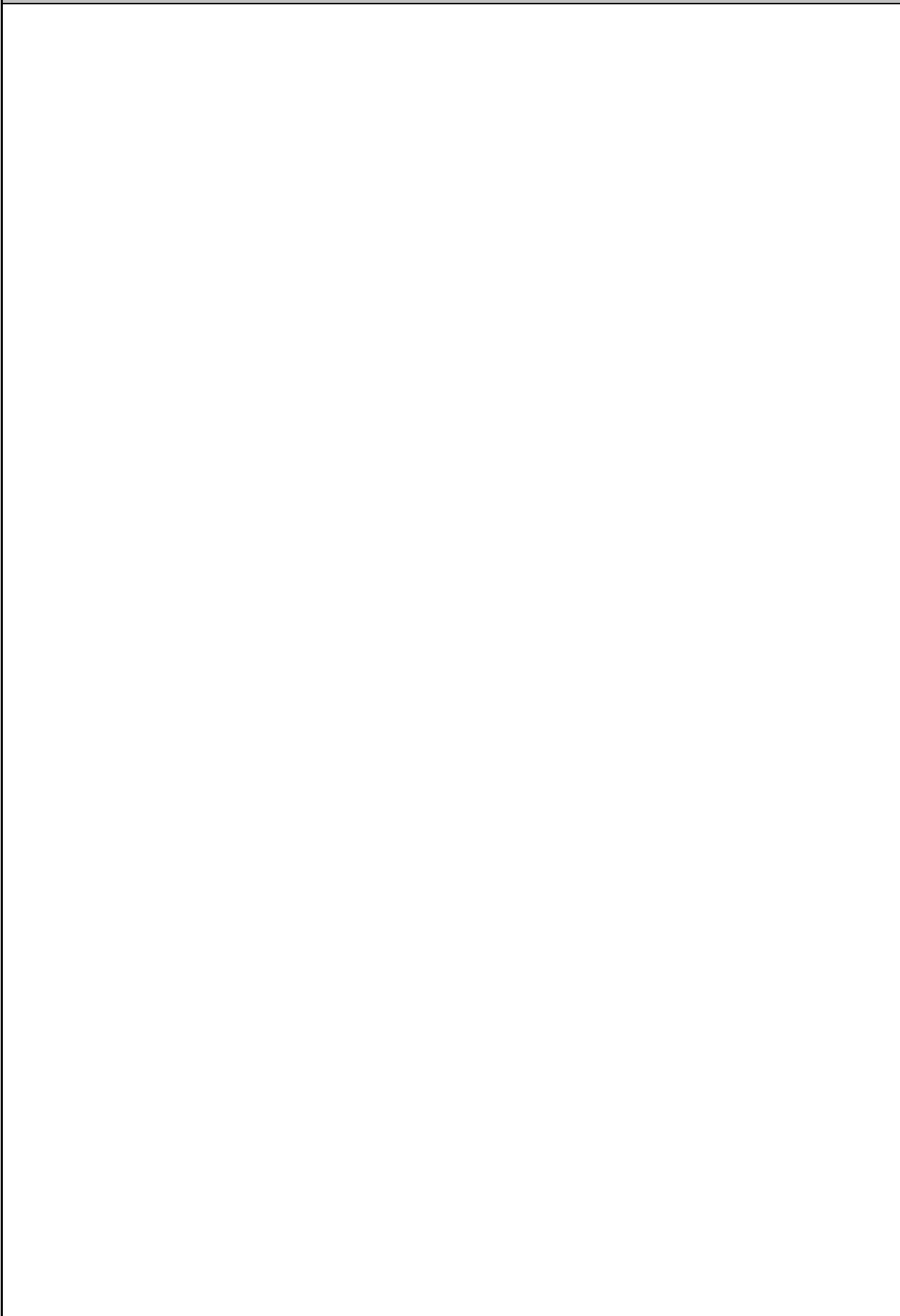
※他の補助金は「大学負担額」に入れること。

9. 本事業事務担当課の連絡先 ※採択結果の通知、ヒアリング等の事務連絡先となります。				
部課名			所在地	〒
責任者	ふりがな 氏名			所属・職名
	ふりがな 氏名			所属・職名
担当者	電話番号			緊急連絡先
	E-mail(主)			E-mail(副)

(大学名:) (申請区分:)

① 構想全体の概念図【1 ページ】

※構想の全体像が分かる概念図を作成してください。



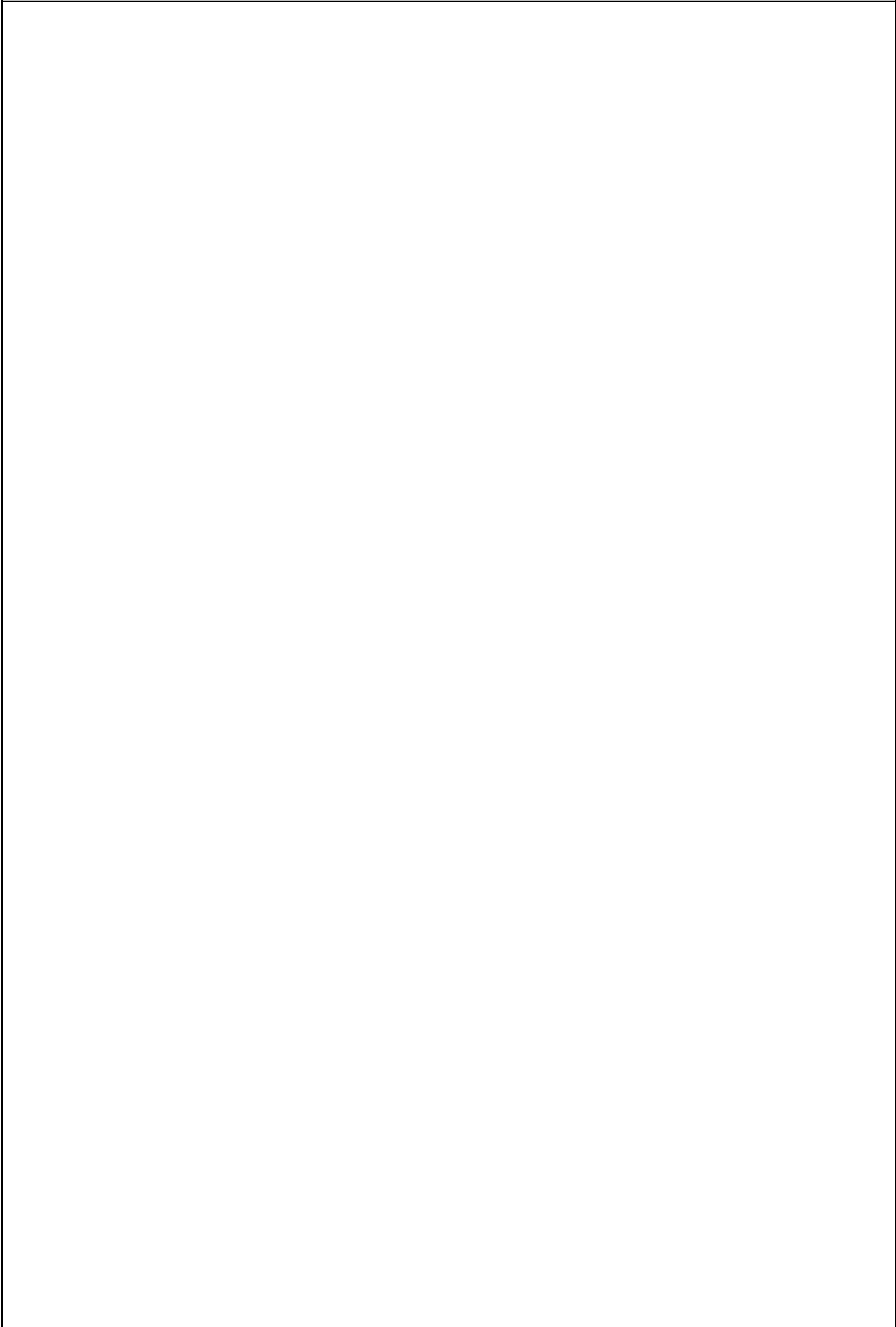
(大学名：) (申請区分：)

② 工程表【1 ページ】

※全体計画を把握するため、10年間の工程表を作成してください。

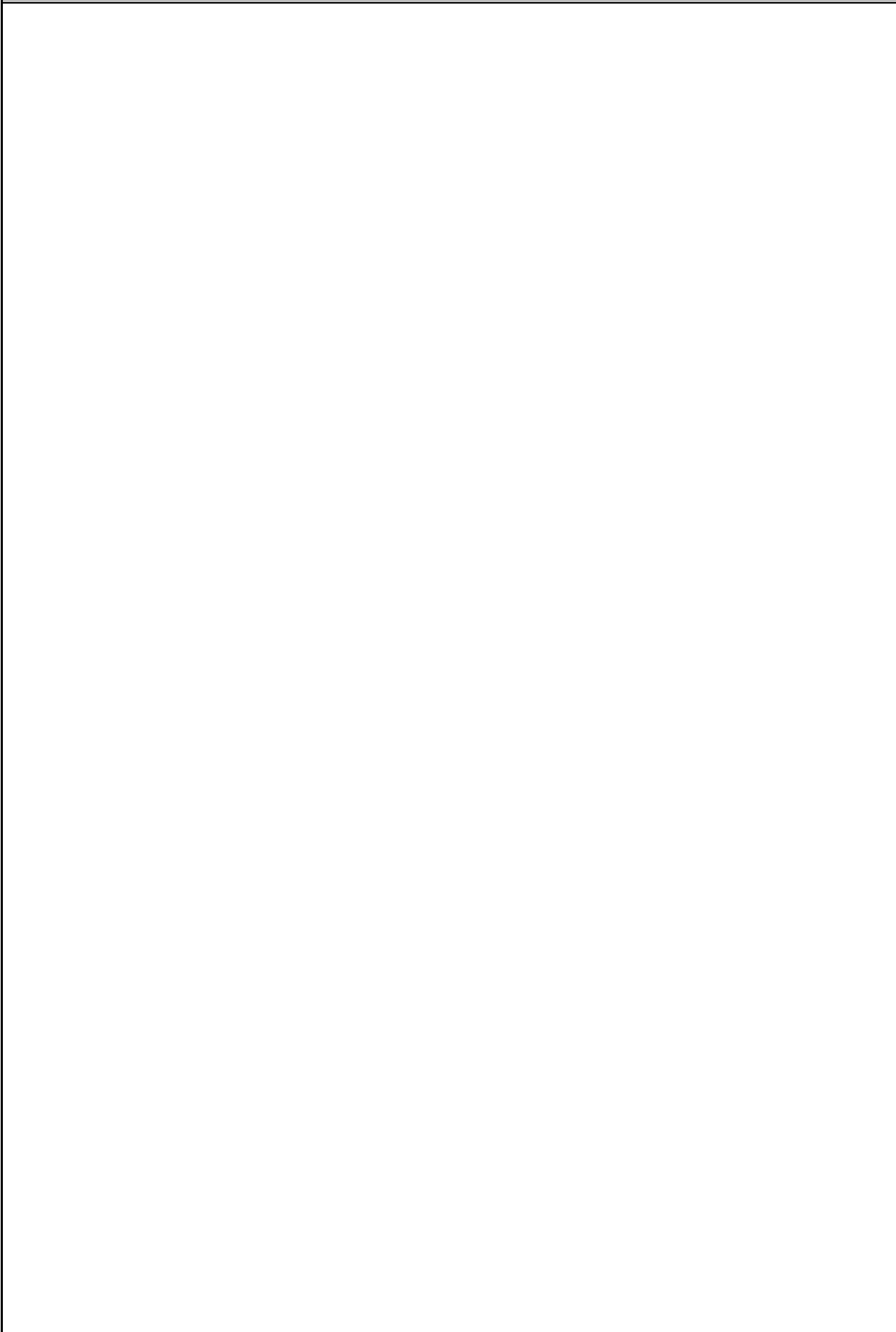
(大学名：) (申請区分：)

③ 共通観点 1 (構想の創造性、展開性等) 概念図【1 ページ】



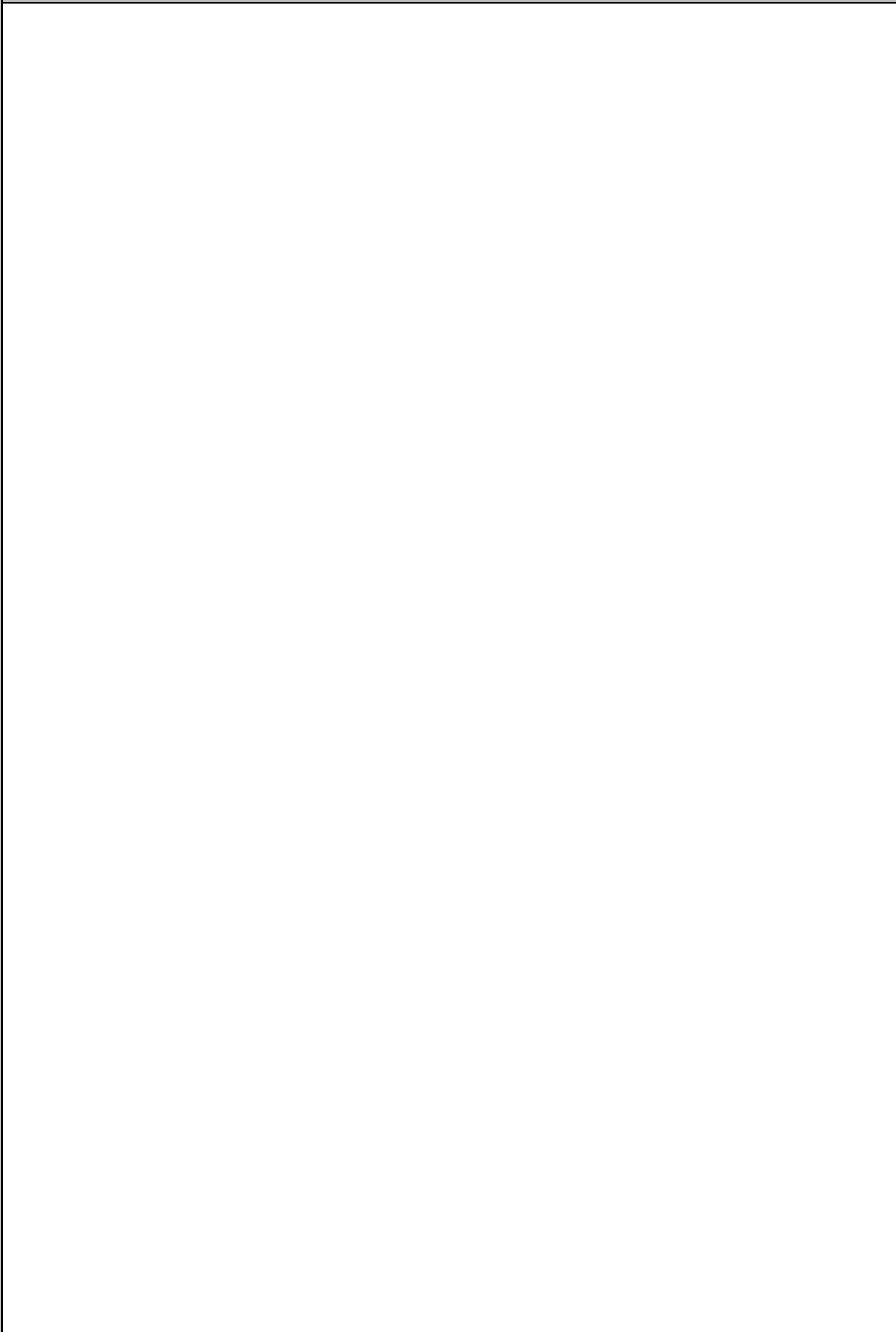
(大学名：) (申請区分：)

④ 共通観点 2 (共通の成果指標と達成目標) 概念図【1 ページ】



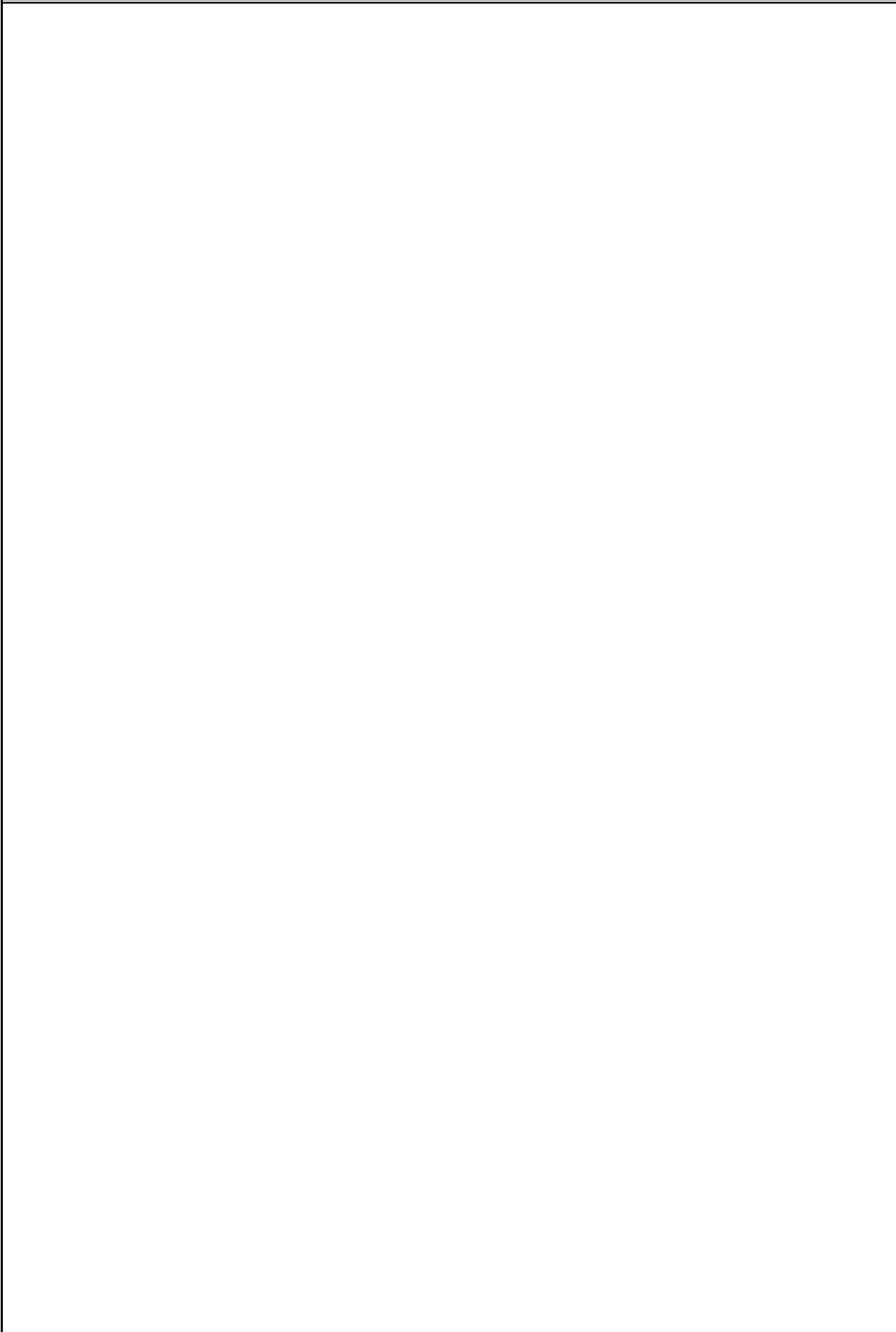
(大学名：) (申請区分：)

⑤ 共通観点 3 (大学独自の成果指標と達成目標) 概念図【1 ページ】



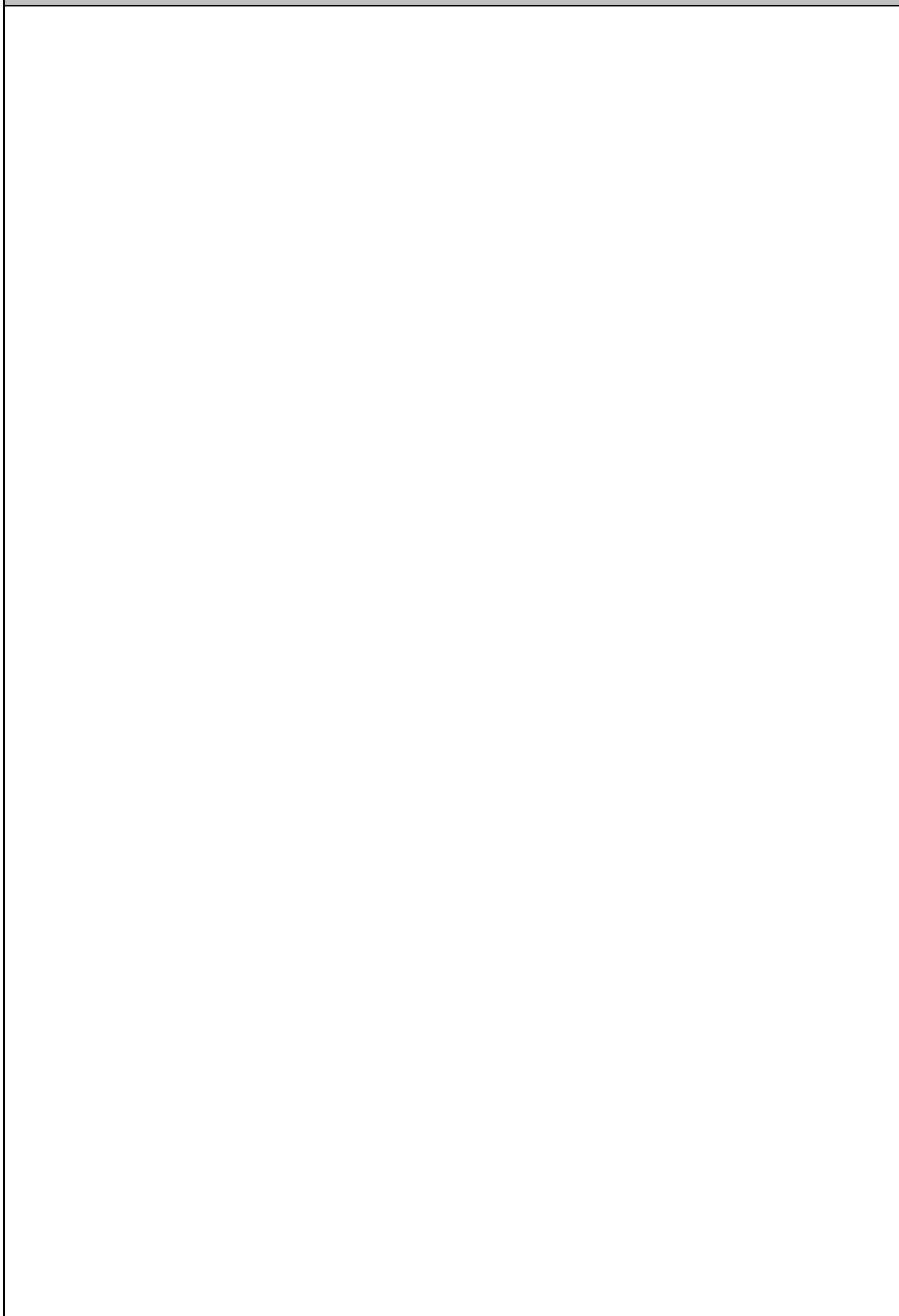
(大学名：) (申請区分：)

⑥ 共通観点 4（構想実現のための体制構築）概念図【1 ページ】



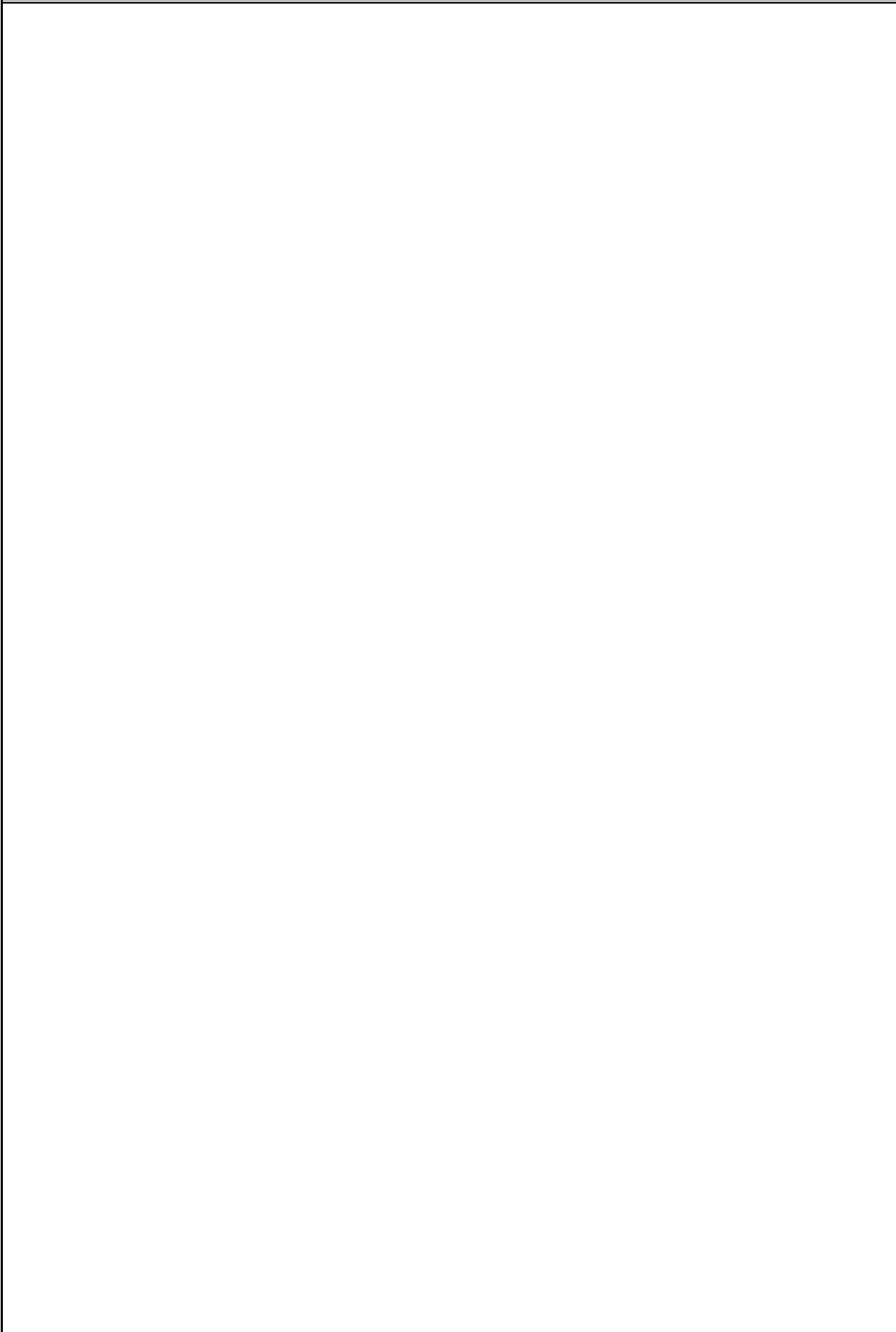
(大学名：) (申請区分：)

⑦A 個別観点A-1（国際的評価の向上）及びA-2（国際的評価に関する教育・研究力）
概念図【1ページ】



（大学名：）（申請区分：）

⑦B 個別観点B（大学の特性を踏まえた特徴）概念図【1ページ】



(大学名：) (申請区分：)

共通観点 1 創造性、展開性等【2 ページ以内】

- 構想・ビジョンが、各大学の理念等と整合し、かつ戦略性、創造性、展開性及び実現可能性を有したものであるか。タイプに合った革新性、先見性及び先導性ある構想となっているか。また、取組が概ね全学的なものであり、大学全体の底上げが認められる内容となっているか。

【大学の理念】

【本構想の目的】

【本構想における取組概要】

共通観点 2 共通の成果指標と達成目標

- 前提条件となる事項（大学改革、国際化等）に関し、「スーパーグローバル大学」に相応しい実績を有し、かつ目標設定がなされているか。 ※各指標の定義は記載要領によること。

1. 国際化関連 (1) 多様性

①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
外国人教員等 (A)	人	人	人	人
うち外国人教員	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取得した 日本人教員	人	人	人	人
うち外国で通算1年以上3年未満 の教育研究歴のある日本人教員	人	人	人	人
うち外国で通算3年以上の教育研 究歴のある日本人教員	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (1) 多様性

②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合【1 ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成 2 6 年度 (H26. 5. 1)	平成 2 9 年度 (H29. 5. 1)	平成 3 2 年度 (H32. 5. 1)	平成 3 6 年度 (H36. 5. 1)
外国人職員等 (A)	人	人	人	人
うち外国人職員	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取 得した職員	人	人	人	人
うち外国で通算 1 年以上の 職務・研修経験のある職員	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割 合 (A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (1) 多様性

③教職員に占める女性の比率【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
女性教員 (A)	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
女性職員 (C)	人	人	人	人
全職員数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (1) 多様性

④全学生に占める外国人留学生の割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
外国人留学生数 (A)	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」 の者	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」 以外の者	人	人	人	人
全学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
	平成25年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
外国人留学生数 (C)	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」 の者	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」 以外の者	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (2) 流動性

①日本人学生に占める留学経験者の割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
単位取得を伴う海外留学経験者数 (A)	人	人	人	人
うち学部 (B)	人	人	人	人
うち大学院 (C)	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
うち学部 (E)	人	人	人	人
うち大学院 (F)	人	人	人	人
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
3ヶ月以上研究派遣された大学院学生数 (G)	人	人	人	人
全大学院学生数 (H)	人	人	人	人
割合 (G/H)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (2) 流動性

②大学間協定に基づく交流数【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
大学間協定に基づく派遣日本人留学生数 (A)	人	人	人	人
うち単位取得を伴う学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数	人	人	人	人
全学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
大学間協定に基づく受入外国人留学生数 (C)	人	人	人	人
うち単位取得を伴う学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (3) 留学支援体制

① 日本人学生の留学についての支援体制の構築【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (3) 留学支援体制

②外国人留学生の支援体制の構築【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (4) 語学力関係

①外国語による授業科目数・割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語による授業科目数(A)	科目	科目	科目	科目
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数(D)	科目	科目	科目	科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	%	%	%	%
割合(B/E)	%	%	%	%
割合(C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (4) 語学力関係

②外国語のみで卒業できるコースの数等【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語のみで卒業できるコースの設置数	コース	コース	コース	コース
うち学部	コース	コース	コース	コース
うち大学院	コース	コース	コース	コース
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数(A)	人	人	人	人
うち学部(B)	人	人	人	人
うち大学院(C)	人	人	人	人
全学生数(D)	人	人	人	人
うち学部(E)	人	人	人	人
うち大学院(F)	人	人	人	人
割合(A/D)	%	%	%	%
割合(B/E)	%	%	%	%
割合(C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (4) 語学力関係

③学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語力基準				
外国語力基準を満たす学生数 (A)	人	人	人	人
うち学部 (B)	人	人	人	人
うち大学院 (C)	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
うち学部 (E)	人	人	人	人
うち大学院 (F)	人	人	人	人
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性

①ナンバリング実施状況・割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
ナンバリングを行っている科目数(A)	科目	科目	科目	科目
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数(D)	科目	科目	科目	科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	%	%	%	%
割合(B/E)	%	%	%	%
割合(C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性

② GPA 導入状況【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性

③シラバスの英語化の状況・割合【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
シラバスを英語化している科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性

④教育プログラムの国際通用性【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

①柔軟な学事暦の設定の有無【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

② 入試における国際バカロレアの活用【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

③ 渡日前入試、入学許可の実施【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

④奨学金支給の入学許可時の伝達【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数(A)	人	人	人	人
奨学金を取得した外国人留学生数(B)	人	人	人	人
割合(A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

⑤混住型学生宿舎の有無【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数(A)	人	人	人	人
留学生宿舎に入居している外国人留学生数(B)	人	人	人	人
割合(A/B)	%	%	%	%
混住型宿舎に入居している日本人学生数(C)	人	人	人	%
全日本人学生数(D)	人	人	人	人
割合(C/D)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

⑥海外拠点の数及び概要【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

⑦外国人留学生OBの積極的活用【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度

⑧英語による情報発信等【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム

①年俸制の導入【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
年俸制適用者(教員)(A)	人	人	人	人
全教員数(B)	人	人	人	人
割合(A/B)	%	%	%	%
年俸制適用者(職員)(C)	人	人	人	人
全職員数(D)	人	人	人	人
割合(C/D)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム

②テニユアトラック制の導入【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
テニユアトラック対象者数 (A)	人	人	人	人
年間専任教員採用者数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム

③国際通用性を見据えた人事評価制度の導入・活用【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム

④国際通用性を見据えた採用と研修【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス

①事務職員の高度化への取組【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語力基準				
外国語力基準を満たす職員数 (A)	人	人	人	人
全職員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス

②具体的ビジョン、中期計画等の策定【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス

③迅速な意思決定を実現する工夫【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス

④意思決定機関等への外国人の参画【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス

⑤ IR機能の強化・充実【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保

① 学生の実質的学びの時間の確保に関する取組【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保

②学生の主体的参加と大学運営への反映の促進【1ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
学生による授業評価実施科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保

③ T A 活用の実践【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

3. 教育の改革的取組関連 (2) 入試改革

① TOEFL 等外部試験の学部入試への活用【1 ページ以内】

【実績及び目標設定】

	平成 2 5 年度	平成 2 8 年度	平成 3 1 年度	平成 3 5 年度
対象入学定員数 (A)	人	人	人	人
全入学定員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

【これまでの取組】

【本構想における取組】

3. 教育の改革的取組関連 (2) 入試改革

②多面的入学者選抜の実施【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

3. 教育の改革的取組関連 (3) 柔軟かつ多様なアカデミック・パス

① 柔軟な転学科・転学部、Late Specialization 等【1 ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

3. 教育の改革的取組関連 (3) 柔軟かつ多様なアカデミック・パス

②早期卒業・入学、5年一貫制課程等【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

4. その他

(1) 教育情報の徹底した公表【1ページ以内】

【これまでの取組】

【本構想における取組】

共通観点3 大学独自の成果指標と達成目標【2ページ以内】

○ 意欲的かつ挑戦的な独自の定量的成果指標と達成目標が、各大学の構想に応じて設定されているか。

【実績及び目標設定】
<定量的>

	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
(指標1)	(人)	(人)	(人)	(人)
(指標2)	(人)	(人)	(人)	(人)
	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
(指標3)	(回)	(回)	(人)	(回)
(指標4)	(人)	(人)	(人)	(人)
(指標5)	(%)	(%)	(%)	(%)

<定性的>
【これまでの取組】

(大学名：) (申請区分：)

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

共通観点 4 構想実現のための体制構築【1 ページ以内】

- 構想を推進し実現できるだけの学内体制の整備が計画されているか。環境の変化に応じ自己変革できる体制を構築できているか。また、事業終了後も継続して取り組むものとなっているか。

【本構想における取組】

本事業の実施計画

① 現在の準備状況及び年度別実施計画【3 ページ以内】

【構想実施に向けた準備状況】

【平成 26 年度】

【平成 27 年度】

【平成 28 年度】

【平成 29 年度】

【平成 30 年度】

(大学名：) (申請区分：)

【平成31年度】

【平成32年度】

【平成33年度】

【平成34年度】

【平成35年度】

(大学名：) (申請区分：)

② 財政支援期間終了後の事業展開【1 ページ以内】**③ 財政支援期間終了後の事業展開に向けた資金計画**

※本項目については、採択された大学に対して中間評価時に記入していただく予定としております。申請段階で記入する必要はありません。

(大学名：) (申請区分：)

個別観点 A-1 国際的評価の向上【2 ページ以内】

- 国際的評価の向上につながる取組となっているか。

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

個別観点 A-2 国際的評価に関する教育・研究力

- 国際的評価において上位に入るだけの教育・研究力を有しているか。

① 国際的評価**○国際的評価にて強みのある分野の有無【1 ページ以内】**

【これまでの取組】

【本構想における取組】

個別観点 B 大学の特性を踏まえた特徴【2ページ以内】

○ 各大学の特性を踏まえた、特徴ある取組となっているか。

【これまでの取組】

【本構想における取組】

(大学名：) (申請区分：)

他の公的資金との重複状況【1ページ以内】

○ 当該申請大学において、今回申請している構想に含まれる他の補助金に、文部科学省が行っている国際化拠点整備事業費補助金、大学改革進等補助金、研究拠点形成費等補助金等、又は独立行政法人日本学術振興会が行っている国際交流事業の補助金等による経費措置を受けている取組がある場合、また、現在申請を予定している事業（大学教育再生加速プログラム、大学の世界展開力強化事業等）がある場合は、それらの取組名称及び内容について、1事業につき3～4行程度を目安に記入してください。その中で、今回の申請内容と類似しているものがある場合には、その相違点についても言及してください。

(大学名：) (申請区分：)

支援期間における各経費の明細【年度ごとに1ページ】					
					(単位：千円)
補助金申請ができる経費は、当該構想の遂行に必要な経費であり、本事業の目的であるスーパーグローバル大学創成支援のための用途に限定されます。(平成26年度スーパーグローバル大学創成支援公募要領参照。)【年度ごとに1ページ】					記載例：教材印刷費 〇〇千円 〇〇部×@〇〇〇円 :謝金 〇〇千円 〇〇人×@〇〇〇円
<平成26年度>	経費区分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
【物品費】					
①設備備品費					
.					
.					
②消耗品費					
.					
.					
[人件費・謝金]					
①人件費					
.					
.					
②謝金					
.					
.					
[旅費]					
.					
.					
.					
.					
.					
.					
[その他]					
①外注費					
.					
.					
②印刷製本費					
.					
.					
③会議費					
.					
.					
④通信運搬費					
.					
.					
⑤光熱水料					
.					
.					
⑥その他(諸経費)					
.					
.					
.					
平成26年度		合計			

(前ページの続き)

＜平成27年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (1)	大学負担額 (2)	事業規模 (1+2)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成27年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成28年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成28年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成29年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (1)	大学負担額 (2)	事業規模 (1+2)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成29年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成30年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	・				
平成30年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成31年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (1)	大学負担額 (2)	事業規模 (1+2)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	・				
平成31年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成32年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (1)	大学負担額 (2)	事業規模 (1+2)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成32年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成33年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
[物品費]					
①設備備品費					
・					
・					
②消耗品費					
・					
・					
[人件費・謝金]					
①人件費					
・					
・					
②謝金					
・					
・					
[旅費]					
・					
・					
・					
・					
・					
[その他]					
①外注費					
・					
・					
②印刷製本費					
・					
・					
③会議費					
・					
・					
④通信運搬費					
・					
・					
⑤光熱水料					
・					
・					
⑥その他(諸経費)					
・					
・					
平成33年度		合計			

(前ページの続き)

＜平成34年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成34年度	合計				

(前ページの続き)

＜平成35年度＞	経 費 区 分	補助金申請額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	該当ページ
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他（諸経費）				
	・				
	・				
	・				
平成35年度	合計				

事業実施の上での要望【1ページ以内】

- 事業の実施に効果的な既存の制度の弾力的運用や解釈変更、改正の要望等。

(成果指標データ集)

1 (1) ①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合				
	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
外国人教員等 (A)	人	人	人	人
うち外国人教員	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取得した教員	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取得した教員	人	人	人	人
うち外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある教員	人	人	人	人
うち外国で通算3年以上の教育研究歴のある教員	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
1 (1) ②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合				
	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
外国人職員等 (A)	人	人	人	人
うち外国人職員	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取得した職員	人	人	人	人
うち外国で通算1年以上の職務・研修経験のある職員	人	人	人	人
全職員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
1 (1) ③教職員に占める女性の比率				
	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
女性教員 (A)	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
女性職員 (C)	人	人	人	人
全職員数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

1 (1) ④全学生に占める外国人留学生の割合				
	平成26年度 (H26.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成32年度 (H32.5.1)	平成36年度 (H36.5.1)
外国人留学生数 (A)	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」の者	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」以外の者	人	人	人	人
全学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国人留学生数 (C)	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」の者	人	人	人	人
うち、在留資格が「留学」以外の者	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%
1 (2) ①日本人学生に占める留学経験者の割合①				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
単位取得を伴う海外留学経験者数 (A)	人	人	人	人
うち学部 (B)	人	人	人	人
うち大学院 (C)	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
うち学部 (E)	人	人	人	人
うち大学院 (F)	人	人	人	人
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
教員の指導の下、3ヶ月以上の研究派遣された学生数 (G)	人	人	人	人
全学生数 (大学院) (H)	人	人	人	人
割合 (G/H)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

1 (2) ②大学間協定に基づく交流数				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
大学間協定に基づく派遣日本人留学生数 (A)	人	人	人	人
うち単位取得を伴う学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数	人	人	人	人
全学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
大学間協定に基づく受入外国人留学生数 (A)	人	人	人	人
うち単位取得を伴う学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数	人	人	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数	人	人	人	人
全学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
1 (4) ①外国語による授業科目数・割合				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語による授業科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

1 (4) ②外国語のみで卒業できるコースの数等①				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語のみで卒業できるコースの設置数	コース	コース	コース	コース
うち学部	コース	コース	コース	コース
うち大学院	コース	コース	コース	コース
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数 (A)	人	人	人	人
うち学部 (B)	人	人	人	人
うち大学院 (C)	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
うち学部 (E)	人	人	人	人
うち大学院 (F)	人	人	人	人
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
1 (4) ③学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組				
外国語力基準				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語力基準を満たす学生数 (A)	人	人	人	人
うち学部 (B)	人	人	人	人
うち大学院 (C)	人	人	人	人
全学生数 (D)	人	人	人	人
うち学部 (E)	人	人	人	人
うち大学院 (F)	人	人	人	人
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

(成果指標データ集)

1 (5) ①ナンバリング実施状況・割合				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
ナンバリングを行っている科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
1 (5) ③シラバスの英語化の状況・割合				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
シラバスを英語化している科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
1 (6) ④奨学金支給の入学許可時の伝達				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国人留学生への入学許可時の奨学金支給の伝達数 (A)	人	人	人	人
奨学金を取得した外国人留学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

1 (6) ⑤混住型学生宿舎の有無				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数 (A)	人	人	人	人
留学生宿舎に入居している外国人留学生数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
混住型宿舎に入居している日本人学生数 (D)	人	人	人	人
全日本人学生数 (E)	人	人	人	人
割合 (D/E)	%	%	%	%
2 (1) ①年俸制の導入				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
年俸制適用者 (教員) 数 (A)	人	人	人	人
全教員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
年俸制適用者 (職員) 数 (C)	人	人	人	人
全職員数 (D)	人	人	人	人
割合 (C/D)	%	%	%	%
2 (1) ②テニユア制の導入				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
テニユアトラック対象者数 (A)	人	人	人	人
年間専任教員採用者数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%
2 (2) ①事務職員の高度化への取組				
外国語力基準				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
外国語力基準を満たす職員数 (A)	人	人	人	人
全職員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)

3 (1) ②学生の主体的参加と大学運営への反映の促進				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
学生による授業評価実施科目数 (A)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (B)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (C)	科目	科目	科目	科目
全授業科目数 (D)	科目	科目	科目	科目
うち学部 (E)	科目	科目	科目	科目
うち大学院 (F)	科目	科目	科目	科目
割合 (A/D)	%	%	%	%
割合 (B/E)	%	%	%	%
割合 (C/F)	%	%	%	%
3 (2) ①TOEFL等外部試験の学部入試への活用				
	平成25年度	平成28年度	平成31年度	平成35年度
対象入学定員数 (A)	人	人	人	人
全入学定員数 (B)	人	人	人	人
割合 (A/B)	%	%	%	%

(大学名：) (申請区分：)